

2023. 5 月のブルーベリー農園その 1

春も半ば、東広島市の豊栄町のブルーベリー農園ではブルーベリーの花をはじめ野山にも多様な花が咲いていて、ミツバチ、特にマルハナバチがブンブンと動きまわって受粉に忙しい。2 日には友人の援農もあり、剪定した枝の野焼きや畑の防草シートを敷く作業が終了。3 日には午後からブルーベリーの栽培を検討している人の見学があり、季節柄、ブルーベリー畑の中で聞こえるミツバチの音も体験していただいた。安芸区の自宅から連休中は農園に通ったが、6 日と 7 日は終日雨で中止。この春は雨が多い。



4 月 30 日 (日)
ブルーベリー畑の花が満開。のり面の草刈りも続ける。



③ 里山のサンショウの花。この木は昨年実がなかったが、今年は実がつくかもしれない。



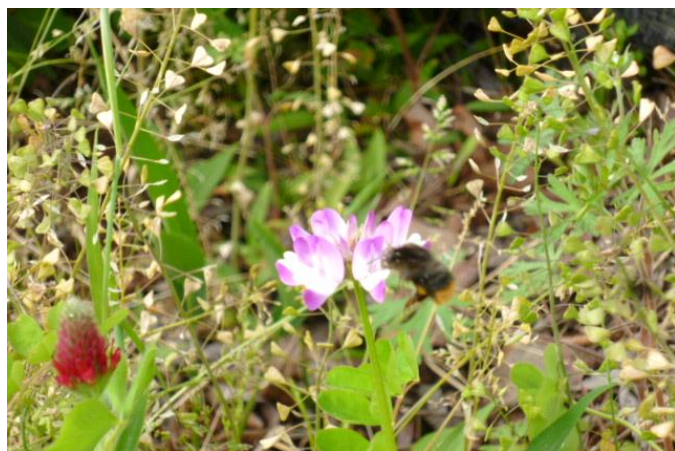
ブルーベリー畑や里山に咲く野の花。
① キジムシロはブルーベリー畑のあちこちに広がる。



5 月 3 日 (水)
田植えが始まる。すんだ田とこれからの田と。



② バイカイカリソウは里山の林の中に咲く



5 月 4 日 (木)
昨年と違い今年はレンゲやクリムソクローバーやダイコンや菜の花の種をまき、春になって花を咲かせているのでブルーベリー畑の中のミツバチもいろいろな花の蜜を吸う。



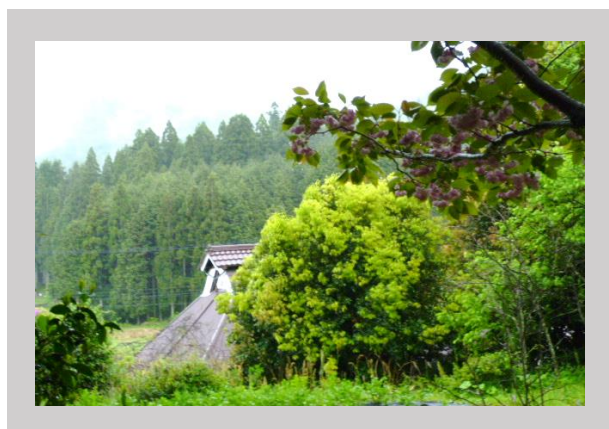
レンゲも結実して種ができています、



ブルーベリーも落花、結実がすすむ。



農園の道向かいの田んぼの畔にはシバザクラが植え
てあるが満開を過ぎて、花色が淡くなってきて目に優
しくなった。道の向こうの祠は水神様。



5月5日（金）

ブルーベリーの剪定は3段ある畑がすんで里山に植
えてあるブルーベリー園に移っている。剪定する人、枝
を片付ける人など手分けをして作業を続けている。



夕方帰るころ、ブルーベリー畑ののり面の草を刈って
くれているのは親戚の男性。2日にお会いした時のエ
ピソードは、里山の草刈りをしていると突然メスのキ
ジが飛び立ったのでよく見ると巣があり、中に卵があ
ったので途中で草刈りを中止したそうだ。話を聞きそ
の後巣にそっと近づき確かめてみたが幸い卵を温め
続けているようで目と目が合ったことでもあるし、ほ
っとしている。生まれて親子で農園の周囲を歩く姿を
見れる日がくるのが楽しみだ。

2023年5月8日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2023年5月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」の
ブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおい
ています》

